



JCLIFE

2022年
7月号

JCI 一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook:<http://www.facebook.com/isojcnw>

6月例会



6月16日(木)、木のおもちゃの開発、工作教室等の幅広い活動を手がけるアトリエMuku-studio代表 野出正和氏を講師としてお招きし、「0から創造する脳のカラクリ」をテーマにご講演を頂きました。

青少年育成委員会では、本年4月の家族会においても、子どもが固定観念に捉われずに自由な発想をもって個性を引き出せるようにと「カラクリエイ

ト」と題しカラクリ装置作りのワークショップを行いました。これに続く形で「アイデア」はどのように生み出させるのか、そのヒントとなる日頃の習慣や思考の在り方等についてワークショップを交えながらご教授いただきました。

「アイデアは悩み捻り出すものではなく、自然に降りてくるもの。その為には、降りやすい環境、パフォーマンズを作ることの方が大切であり、オトナにならず、子どものように柔軟な好奇心を日頃から持ち続けることが重要」というメッセージが印象に残りました。引き続き当委員会では、個性が輝く豊かな社会を築けるよう活動に邁進してまいります。

(記事：青少年育成委員会幹事 岡村虹二)



第3回 会員会議所 会議

去る6月11日(金)に尾道国際ホテルにて、中国地区広島ブロック協議会第3回会員会議所会議が行われました。今回は、本年度に府中で開催されるブロック大会を中心とした議案が上程され、当日に向けて活発な意見交換が行われました。また、翌日に開催を控えているブロックアカデミーが、11年ぶりに尾道の地にて開催されることもあり、今岡理事長から開催に向けての挨拶で、意気込みと各LOM皆様への感謝の念をお話されておりました。

夜には懇親会が開かれ、本年度の事務局メンバーで設えていただいた余興である、山田会長、加度直前会長、各LOM理事

長を回答者に迎え、尾道を題材としたクイズ大会がおこなわれ、中島事務局長の名MCにより会場は大いに盛り上がり、ブロックアカデミー成功への良いスタートとなる懇親会となりました。

(記事：直前会長補佐 山本恭平)





公益社団法人日本青年会議所 中国地区 広島ブロック協議会
2022年度 広島ブロックアカデミー in 尾道

主管：一般社団法人尾道青年会議所



先ずは多くの協力者の方々のおかげで無事、6月11日(土)に2022年度広島ブロックアカデミーを終えることが出来ました。

残念ながら当日は、天候に恵まれませんでした。尾道青年会議所メンバーの協力や公益社団法人日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会の平井委員長を始めとする理念共感拡大委員会の協力を得ることで盛大に開催することが出来ました。

そして、会場をお借りすることになりました。浄土寺様には早期の準備段階から、ご協力頂き誠にありがとうございました。

広島ブロックアカデミーは年に1度開催され、広島県内の12LOMの新入会委員・仮入会員を対象とした事業で、尾道が主管LOMになるのは、実に11年ぶりのこととなります。また近年は新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から2020年はWEB開催、2021年は中止となり現地開催となるのは実に3年ぶりとなります。

そのため、参加人数も当初173名の方が登録しており、広島ブロック協議会からも今年のアカデミーに寄せる多大な期待を寄せていると聞いていました。

広島ブロックアカデミーの目的として、JCについての理解を深め、自己の成長のための修練の場であると共に他LOMのメンバーとの交流を図る貴重な機会となります。

プログラムとして開校式後に山田ブロック会長による新入会員などを対象とした“JCプラットフォーム”から始まりました。“JCプラットフォーム”では、JCとしての基礎を学ぶ場になりました。

その後、講師として東京青年会議所の小川芳裕君と同青年会議所のOGである宮坂恵理子先輩をお招きし、SDGsアクションカードゲーム『X』(クロス)を使って、班ごとにLOMの垣根を越えてまちの課題についてのアイデアを出し合うことで課題解決方法を学んで頂きました。



開校式

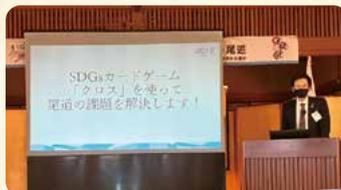


別会場へのサテライト配信



JCプラットフォーム

SDGs アクションカードゲーム『X』



午前のプログラムが終わり、午後からは昼食を兼ね、各班を2チームに分けそれぞれのチームごとに尾道市街に設けた計14か所のチェックポイントを散策し、尾道の風景や歴史を参加者感じて頂きました。

最後のプログラムでは、尾道の散策で見えて感じて頂いた課題に対して参加者同士の持っているスキルを重ね合わせることで、既成概念にとらわれない自由な発想でまちの課題を解決するといった青年会議所らしさを学んで頂きました。最後に班内で出たアイデアを会場毎に発表して貰い全プログラムを終えることになりました。一日と言う短い時間でしたが、参加者たちがLOMの垣根を超え新たな仲間と共に成長していく機会を作ることが出来ました。

今回のアカデミーでは、尾道青年会議所現役メンバーの協力を得ることで何とか責務を全うすることができました。協力頂いた現役メンバーの皆様には準備段階から無理なお願いもりましたが、ご協力・対応して頂き本当に感謝しております。

(記事: まちの未来創造委員会 委員長 村上直弘)



フィールドドラッシング



終了後の懇親会



目標は“優勝”

中司野球部 始動



2022年度、中司野球部が活動を開始した。今年是新戦力も加わったうえ腰痛で出場が危ぶまれた平岡良之君が大会までに間に合った。

今年で現役を引退する今岡正英理事長と岡本正也君のためにも必ずブロック野球大会で優勝しますと中司昌克監督は声高らかに宣言した。大会の詳細は次号JCIライフ8月号でお伝えします。

(記事：村橋聡)



中国地区 コンファレンス in松江



6月18日、19日に開催されました、中国地区コンファレンス2022 in松江に参加してまいりました。

コロナウイルス対策を十分取った上で、2年ぶりの現地開催で、中国地方の各LOMが集まり、中国地方の未来について語り合いました。

人数制限等の規制がある中でも、松江の特徴を前面に押し出した素晴らしい地区コンファレンスでした。

そして、2023年度の地区コンファレンス開催地が尾道に決定しました。

今岡理事長が、無事に鍵の伝達式を済ませ、尾道の魅力について、そして必ず良い地区コンファレンスを行う事を、中国地方の理事長の皆様の前で宣言されました。

(記事：65周年実行特別委員会 副実行委員長 加藤雅崇)



三原JC60周年 記念式典



6月26日(日)三原国際ホテルにて、尾道青年会議所がスポンサーでもあります、三原青年会議所 創立60周年記念式典に参加してきました。

本年度は北田理事長の下、窮理実践時代の先駆者となれくをテーマに活動されており、二部構成となる式典のオープニングは、大草小学校の児童により結成された大草神楽こども研究クラブによる豊田流神楽を披露していただきました。

中盤にはスポンサーJCIとして、表彰して頂き、今岡理事長から祝辞も述べられました。

第二部の最後には三原青年会議所の恒例の一本締めを皆でして式典を終えられました。

今後も同じ志しを持つ仲間として切磋琢磨できればと思います。

(記事：セクレタリー 高垣悟)



編集 後記

酒がないと暴れ、酒が入ると暴れん坊將軍な2022年度総務広報委員会の村橋委員長が豪遊できる委員会旅行を計画中です。幹事の中原さんとスーパー幹事の福島さんといかに村橋委員長と、ともに卒業予定者の岡田貴臣さんを楽しませるか試行錯誤しています…。はんばな計画ではお二方とも満足出来ないで、SPECIALな委員会旅行を計画し、楽しんで頂けるように計画して参ります。感想は後日お二方にお聞き下さい。(記事：藤田 祐輔)

